

## 子どものからだと心・連絡会議

The National Network of Physical and Mental Health in Japanese Children

Nippon Sport Science University, Department of Health Promotion and Physical Education in School  
7-1-1, Fukasawa, Setagaya-ku, Tokyo 158-8508, Japan Phone&Fax.: +81-3-5706-1543

2016年9月吉日

関係各位

子どものからだと心・連絡会議

### 『第38回 子どものからだと心・全国研究会議』開催のお知らせ

拝啓 秋晴の候、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、私ども「子どものからだと心・連絡会議」が主催する『第38回 子どものからだと心・全国研究会議』が別紙要項の通りに開催される運びとなりました。

“子どものからだと心”のおかしさを追求して30余年、その解決の糸口を見つけるために発足した本全国研究会議では、各地での取り組みの結果をもちよって有効な方法を検討する“団体研究法”で研究協議を進めてまいりました。

そこで本年も、私たち「子どものからだと心・連絡会議」では、「第38回子どものからだと心・全国研究会議」を下記のごとく企画いたしました。

本年の「特別講演」は、眞鍋穰氏（阪南医療生協診療所所長・大阪健康福祉短期大学教授）に「いま、子どもアレルギーを考える！」をテーマにお話しいただく予定です。2013年10月、東京・調布市で起きたアレルギー事故は、学校関係者のみならず多くの人々に強烈な衝撃を与えました。そして、「アレルギーは人の命を脅かすこともある」と、誰もがその認識を深めるきっかけにもなりました。私たち、子どものからだと心・連絡会議が5年ごとに行っている「子どものからだの調査（実感調査）」でも、最近増えていると実感している事象に「アレルギー」と回答する者の割合は多く、2015年調査では保育園・幼稚園から高等学校までのどの学校段階においてもワースト1位という結果が示されました。つまり、子どもたちのからだや健康への理解を深めようとした時に、もはや「アレルギー」は切っても切り離せない事象であるとも言えます。このような中で、眞鍋氏の講演はアレルギーをもつ子どもだけでなく、多くの子どもの理解に役立つと大いに期待しています。

さらに、「講座」では、花井忠征氏（中部大学教授）に「発達障がいの子どもの寄り添って-運動遊びで変わる子どもたち-」というテーマでご報告いただきます。また、例年通り、「指定報告」や「一般報告（ポスター発表）」なども企画いたしました。本研究会議を通して子どもたちを元気にする方法を学び、子どもも大人も笑顔で希望がもてる社会づくりの一助となればと願っております。どうぞご期待ください。

つきましては、同封しておりますチラシを、貴研究所が開催されます集会や発行されておられる機関誌等でご紹介いただければ幸いに存じます。不躰なお願いで恐縮に存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

《お問合せ先》 第38回子どものからだと心・全国研究会議 事務局

大会実行委員長 下里 彩香

実行委員（広報） 七戸 藍、松本 稜子

〒158-8508 世田谷区深沢 7-1-1 日本体育大学 野井研究室気付

子どものからだと心・連絡会議事務局

Phone&Fax : 03-5706-1543, E-mail : karada\_1979@yahoo.co.jp

URL : <http://kodomonokaradatokokoro.com/index.html>